

スタートアップ・ガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、45ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM® Lotus Foundations バージョン 1.1 リリース 1 (製品番号 5724-V16) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Lotus® Foundations Branch Office
Version 1.1 Release 1
Getting Started Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2009.3

© Copyright International Business Machines Corporation 2009.

目次

概要	1	第 7 部: Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の登録	27
始める前に	3	第 8 部: Enterprise Lotus Domino ドメインのメンバとしての Lotus Foundations Branch Office サーバーのセットアップ	29
インストールの概要	7	第 9 部: Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の複製の設定	33
第 1 部および第 2 部: システムハードウェア設定	9	第 10 部: オプション: Lotus Domino の言語パックのインストール	35
第 1 部: Lotus Foundations Appliance での Lotus Foundations の初回セットアップ	9	第 11 部: Lotus Foundations Branch Office ユーザーの設定および登録	37
Lotus Foundations Appliance の概要	9	オプション: カスタマイズ	41
電源の接続	12	オプション: 追加機能のインストール	43
ローカルネットワークへの接続 - イーサネットポート 0	12	特記事項	45
インターネットへの接続 - イーサネットポート 1 と 2	12	商標	46
電源投入シーケンス	13		
IP アドレスの手動設定 - イーサネットポート 0	13		
第 2 部: サードパーティ製ハードウェアでの Lotus Foundations の初回セットアップ	14		
Lotus Foundations Core のインストール	15		
第 3 部: 管理者権限アカウントの作成	19		
第 4 部: ディスクの設定	21		
第 5 部: Lotus Foundations Branch Office のインストール	23		
第 6 部: Lotus Foundations Branch Office サーバーと Lotus Domino Enterprise サーバー間の接続の確立	25		

概要

『*Lotus Foundations Branch Office スタートアップ・ガイド*』へようこそ。このガイドは、Lotus Foundations サーバーの基本的なセットアップを行って素早く稼働状態にすることを目的として構成されているので、ここで扱うのは基本的なインストール、設定、およびセットアップのトピックのみです。Lotus Foundations Branch Office は、IBM Lotus Notes を複製して本社と支社間で E メールメッセージを送受信することを目的に、既存のプライマリ Lotus Domino Enterprise サーバーと連動する補完的サーバーとして使用されるように設計されています。そのため、Lotus Domino Enterprise サーバーがセカンダリ Lotus Domino サーバーと対話できるように構成済みであること、そして操作対象のインフラストラクチャに対する完全な管理アクセス権があることが前提となります。ソフトウェアの正常なインストールを確実にするためには、Lotus Domino のソフトウェアおよび管理について十分に理解していることが必須です。

Lotus Foundations Branch Office には、他の Lotus Domino サーバーと同じように使用できる Lotus Domino サーバーが含まれていることに注意してください。このガイドで説明する手順は、一般的なビジネスシナリオを反映しています。一部の手順は、ご使用のインストール環境、ポリシー、手続き、またはベストプラクティスに応じて調整しなければならない場合もあります。

始める前に

Lotus Foundations Branch Office 環境を正常に実装するには、以下の点を確認してください。

- 『必要なスキル』
- 4 ページの『必要なアイテム』
- 4 ページの『必要なサーバー名』

必要なスキル

必要なスキルをしっかりと確保していることを確認してください。これは、以下を含めた各種のスキルを持つデプロイメントチームを確立することなどを意味します。

- 以下をはじめとする Lotus Domino 管理のスキル
 - Lotus Domino ドメイン構造および命名規則についての一般知識
 - Lotus Foundations Branch Office が接続する特定の Lotus Domino Enterprise サーバー環境についての十分な知識
 - カスタマイズした Lotus Domino アプリケーションまたはテンプレートがある場合は、Lotus Domino 開発者としてのスキル
- 以下をはじめとするネットワーク管理のスキル
 - Lotus Domino Enterprise サーバーおよび Lotus Foundations Branch Office サーバーが常駐するそれぞれのネットワーク接続形態、およびこれらの環境間のネットワーク接続についての一般的な知識
 - Lotus Foundations Branch Office サーバーと Lotus Domino Enterprise サーバー間の DNS 接続を解決するための DNS エントリおよび IP アドレスを更新、追加する能力
 - オプション: 環境によっては、仮想プライベートネットワーク (VPN) 接続が必要になる場合もあります。詳しくは、『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』の「*Virtual private networks*」の章を参照してください。
- Lotus Foundations 環境内の機能についての一般知識を含む、Lotus Foundations のスキル。トレーニングおよび教育用リソースについては、『*Lotus Foundations Branch Office リソース*』を参照してください。

Lotus Foundations Branch Office リソース

Lotus Foundations Branch Office についてさらに詳しく調べるには、以下のリソースをお勧めします。

- Lotus Domino Administrator 用 Lotus Foundations Branch Office リソース
- 『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』
- Lotus Foundations wiki: 「learning」で検索

必要なアイテム

以下のアイテムがあることを確認してください。

表 1. 必要なアイテムのチェックリスト

✓	アイテム
	既存の IBM Lotus Domino Enterprise サーバー、バージョン 8.5、8.0.2、または 8.0.1
	IBM Lotus Domino Administrator バージョン 8.x
	<p>Lotus Foundations Branch Office ソフトウェア。</p> <p>IBM からダウンロードしたファイル、または注文したソフトウェア専用の DVD メディアパックのいずれかを使用します。ソフトウェアをダウンロードした場合は、以下の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ダウンロードした全てのファイルを unzip して、ワークステーション上の 1 つのフォルダに格納します。例えば、unzip 先を C:\temp\lotusfoundations とします。unzip した結果は以下のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> LotusFoundations_11_nnnn.iso という名前の 1 つのファイル feature_name.pkg という名前のいくつかのサブフォルダ サードパーティーハードウェアの場合のみ: LotusFoundations_11_nnnn.iso という名前のファイルを見つけて、このファイルを CD 書き込みます。このディスクに「IBM Lotus Foundations Core、ディスク 1」というラベルを付けます。任意の標準 CD ライターソフトウェアを使用できます。この CD を使用してサーバーを起動し、インストール処理を開始します。
	<p>以下のソフトウェアがインストールされた Windows XP または Vista クライアント</p> <ul style="list-style-type: none"> Lotus Domino Administrator リモートサーバーの設定プログラム (Lotus Domino Administrator のインストール時にインストール可能なオプション)
	<p>Lotus Foundations Branch Office アクティベーションキー。</p> <p>購入した機能の完全なソフトウェアアクティベーションを行うには、初期セットアップ時か、インストール後 30 日以内にソフトウェアアクティベーションキーを入力する必要があります。デフォルトでは、Lotus Foundations Branch Office は 30 日間の試用モードで動作します。Lotus Foundations のアクティベーションが行われるまで、一部の機能は休止状態のままとなります。アクティベーションキーは、E メールで送信されます。アクティベーションキーを受け取っていない場合は、+1.866.384.8324 までお電話いただき、オプション 2 を選択してください。</p>
	システムハードウェア要件を満たすハードウェア
	必要なサーバー名 (詳細は『必要なサーバー名』を参照)
	アクティベーションのインターネットサービス。

必要なサーバー名

Lotus Domino Enterprise サーバーのセットアップを始める前に、サーバーの正しい命名規則およびアドレス指定を規定済みであることを確認してください。Lotus Foundations で使用するドメイン名については、『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』の「Domain name services」の章を参照してください。

以下の表にリストした Lotus Domino Enterprise サーバー名を把握してから作業を続けてください。23 ページの『第 5 部: Lotus Foundations Branch Office のインストール』および 27 ページの『第 7 部: Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の登録』では、この表に記載した Lotus Foundations Branch Office サーバー名を割り当てます。この表を印刷して、ステップを実行するときに使用してください。

表 2. サーバー名

サーバー名	サーバー名の例	使用するサーバー名
Lotus Domino Enterprise サーバーのインターネット名 ¹	domino.mycompany.com	
Lotus Domino Enterprise サーバーの Lotus Domino 名	MyDomino/MyCompany	
Lotus Foundations Branch Office サーバーのインターネット名 ¹ (23 ページの『第 5 部: Lotus Foundations Branch Office のインストール』で割り当てる名前)	keyphrase3.mycompanydev5.com	
Lotus Foundations Branch Office サーバーの Lotus Domino 名 (27 ページの『第 7 部: Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の登録』で割り当てる名前)	Sales1	

¹ それぞれのインターネット名には、2 つの形が考えられます。インターネットを経由していて、公開 DNS に依存している場合は、完全修飾ホスト名を使用します。VPN 内でこれらのステップを行っている場合、またはホスト名の DNS エントリをすでに設定してある場合には、名前を完全修飾ホスト名にする必要はありません。ただし、いずれの名前も IP アドレスにすることはできません。Lotus Foundations Branch Office サーバーの完全修飾ホスト名を調べるには、23 ページの『第 5 部: Lotus Foundations Branch Office のインストール』を完了してから、WebConfig コンソールにログインします (https://server_ip_address:8043)。左側のメニューから「ネットワーク」をクリックします。「ホスト名」フィールドと「ドメイン名」フィールドを組み合わせた名前が、完全修飾ホスト名となります。

ローカルネットワークの設定

基本設定	DHCP サーバの設定	拡張設定
ホスト名:	<input type="text" value="egg5"/>	
ドメイン名:	<input type="text" value="karen5.com"/>	

図 1. ローカルネットワークの設定

インストールの概要

インストールの所要時間は、約 60 分から 90 分です。ここでは、実行する必要がある作業をいくつかの手順にわけて説明します。

表 3. 作業の概要

ステップ	作業
1 および 2	システムハードウェア設定に続き、Lotus Foundations Core のインストールおよび設定
3	管理者権限アカウントの作成
4	ディスクの設定
5	Lotus Foundations Branch Office のインストール
6	Lotus Foundations Branch Office サーバーと Enterprise Lotus Domino サーバー間の接続の確立
7	Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の登録
8	Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office ドメインの構成
9	Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の複製の設定
10	オプション: Lotus Domino の言語パックのインストール
11	Lotus Foundations Branch Office ユーザーの設定および登録
12	オプション: 41 ページの『オプション: カスタマイズ』および 43 ページの『オプション: 追加機能のインストール』

第 1 部および第 2 部: システムハードウェア設定

Lotus Foundations は、サポートされている以下の 2 種類のハードウェア設定のいずれかで稼働します。

- 設定 1: Lotus Foundations Appliance
- 設定 2: サードパーティ製ハードウェア

第 1 部: Lotus Foundations Appliance での Lotus Foundations の初回セットアップ

Lotus Foundations Appliance の初期設定は、電源プラグを差し込んでローカルネットワークとインターネットに接続するだけで済みます。

Lotus Foundations Appliance の概要

Lotus Foundations Appliance は以下のコンポーネントで構成されています。

1. Lotus Foundations Appliance 本体
2. Lotus Foundations プラットフォーム (ロード済みオペレーティングシステム)
3. Lotus Foundations Start ソフトウェアの DVD (トライアルライセンスの有効期間は 30 日間です。30 日間のトライアルを超えて使用するには、別売のソフトウェアライセンスとアクティベーションキーが必要です)。
4. Lotus Foundations スタートアップ・ガイド (1)
5. リムーバブルトレイの鍵 (2)
6. サイドドアの鍵 (2)
7. 電源コード (1)

前面



図 2. Lotus Foundations Appliance の前面

サーバーの電源ボタン、液晶ディスプレイ、IDB ディスクはドアの中にあります。ドアを開けるには、左サイドを右方向にちょっと押します。するとラッチが外れてドアを開けることができます。スマートスワップハードディスクが収められている下部のカバーを外すには、下部カバーにあるボタンを押して、サーバーの筐体から慎重に取り外してください。

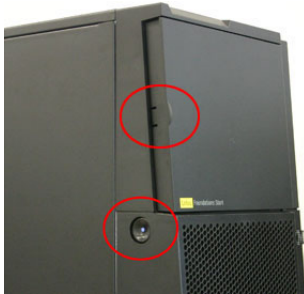


図 3. Lotus Foundations Appliance の液晶パネル

下の写真は、サーバーのドアを開け、前面カバーを外したところです。

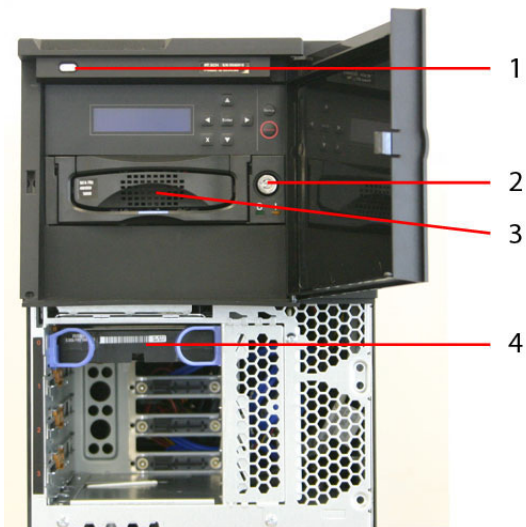


図 4. Appliance のドアを開けたところ

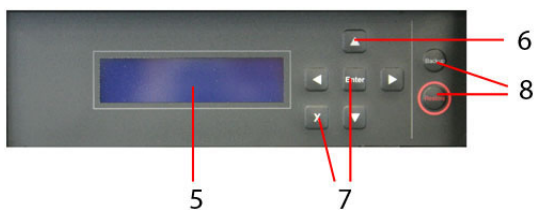


図 5. 液晶ディスプレイ

1. 電源ボタン - サーバーの電源をオン/オフします。
2. リムーバブル IDB ディスクの鍵 - 前面プレートをロックして物理的にアクセスできないようにします。

3. リムーバブル IDB ディスク - リムーバブル IDB トレイ。IDB ディスクとして設定されています。
4. リムーバブルメインディスク - ハードディスクが収納されています。簡単に交換できるようにキャリアに入っていて、メインディスクアレイとして設定されています。
5. 液晶ディスプレイ - Lotus Foundations Appliance の状態を表示します。
6. 矢印ボタン - コントロールパネルからのコマンドの実行に使用します。
7. **Enter** ボタンと **X** ボタン - コントロールパネルからのコマンドの実行に使用します。
8. **Backup** ボタンと **Restore** ボタン - バックアップ操作およびリストア操作を開始するときに使います。

背面

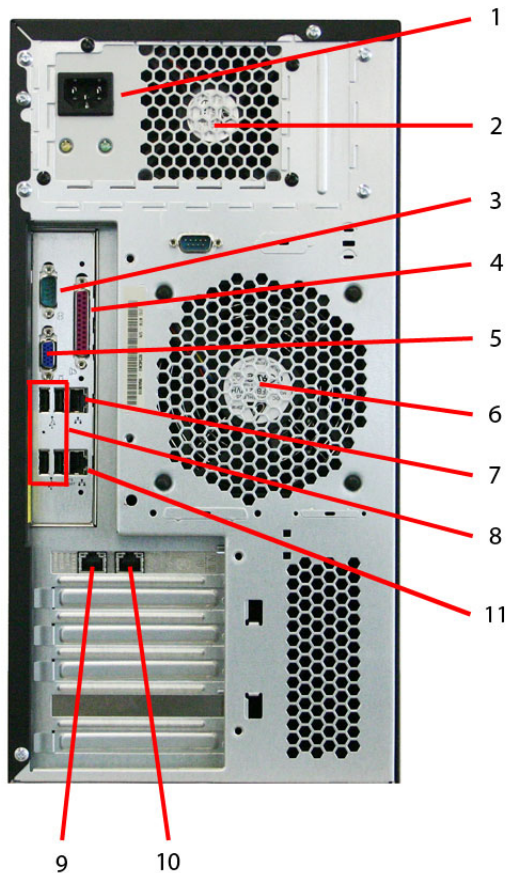


図 6. Lotus Foundations Appliance の背面

1. 電源ソケット - 電源コードを接続します。
2. 電源ファン - 内部のコンポーネントを冷却するためのファンです。
3. シリアルポート - 外部のダイヤルアップモデム用のポートです。
4. パラレルプリンタポート - 共有プリンタ用のポートです。
5. VGA ポート - サーバー用のモニターを接続します。
6. 主冷却ファン - 内部のコンポーネントの冷却用のもう 1 つのファンです。

7. **イーサネットポート 2** - LAN セグメントまたはインターネットへの接続に使用します。
8. **USB ポート** - 将来の拡張用の予備です。
9. **イーサネットポート 1** - LAN セグメントまたはインターネットへの接続に使用します。
10. **イーサネットポート 0** - ローカルエリアネットワーク (LAN) への接続に使用します。
11. 将来の拡張用の予備です。

電源の接続

1. Lotus Foundations Appliance に適切な通気を確保してください。ユニットの背面は壁から 30 cm 以上離してください。ユニットの前面はすぐに操作できるようにしておいてください。
2. 電源コードの一端を Lotus Foundations Appliance の背面にある電源ソケットに差し込みます。
3. コードの他端を標準電源コンセントに差し込みます。

ローカルネットワークへの接続 - イーサネットポート 0

1. イーサネットケーブルの一端を Lotus Foundations Appliance の背面にあるイーサネットポート 0 に接続します。



図7. イーサネットポート 0

2. ケーブルの他端をローカルエリアネットワーク (LAN) スイッチに接続します。イーサネットポート 0 を、インターネットにアクセスするルータに接続しないでください。イーサネットポート 0 は通常、内部アクセス (ローカルネットワーク) 用に確保されています。

インターネットへの接続 - イーサネットポート 1 と 2

イーサネットポート 1 と 2 は、インターネットまたはご使用の LAN (ローカルネットワークエリアワーク) の他のセグメントに接続するために使用します。イーサネットケーブルを使用して、高速のインターネットルーティング機器に接続します。直接

インターネットに接続することもできますし、ケーブルモデム、DSL モデム、またはルータに接続することもできます。

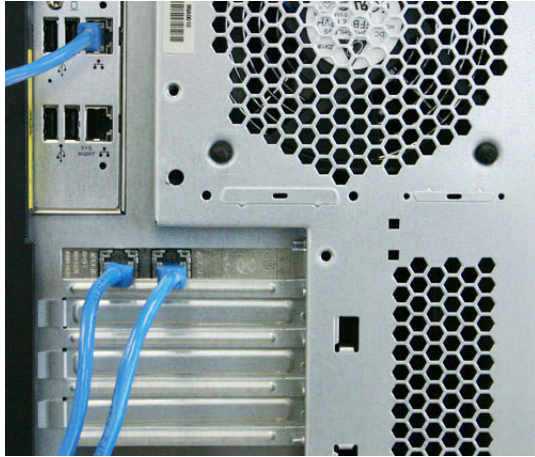


図8. イーサネットポート 1 とイーサネットポート 2

より高度な設定について、または外部ダイヤルアップモデムの使用法については、『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』を参照してください。

電源投入シーケンス

1. Lotus Foundations Appliance の前面にある電源ボタンを押します。
2. Lotus Foundations Appliance の起動には多少の時間がかかります。起動中に以下のイベントが順に実行されます。
 - ハードディスクとファンが動作を開始します。
 - Lotus Foundations Appliance のブザーが数回鳴ります。
 - ソフトウェアが読み込まれ、液晶パネルの表示が始まります。
3. Lotus Foundations Appliance がその周辺環境を認識してネットワークパラメータを自動的に設定するまで、何も操作しないで待ってください。液晶パネルに、実行中のネットワーク検出動作を示すメッセージが表示されます。しばらくすると、Lotus Foundations Appliance が自動選択した IP アドレスが表示されます。その数値は、接続先の LAN (ローカルエリアネットワーク) に基づいています (例: 192.168.0.1)。
4. 起動シーケンスが完了すると、液晶パネルにさまざまな Lotus Foundations Appliance システムのステータスが表示されます。表示パネルの 1 行目には、Lotus Foundations Appliance の IP アドレスが表示されます。2 行目には、日付、時刻、オペレーティングシステムのバージョンが循環表示されます。液晶パネルに IP アドレスが表示されたら、セットアップの準備が完了です。Lotus Foundations Appliance が LAN の IP アドレスを検出できなかった場合は、サーバーの IP アドレスを手動で設定する必要があります。詳しくは、『IP アドレスの手動設定 - イーサネットポート 0』を参照してください。

IP アドレスの手動設定 - イーサネットポート 0

次のような場合は以下の手順に従ってください。

- Lotus Foundations Appliance が IP アドレスを自動的に選択できない場合。

- 選択された IP アドレスを手動で変更したい場合。
 1. 前面コントロールパネルの Enter ボタンを押します。以下のメニューが表示されます。


```
MENU [Net] Info
Dialer System
```
 2. [Net] がすでに選択されています。Enter ボタンを押します。以下のメニューが表示されます。


```
NETWORK [IP addr]
Netmask DHCP
```
 3. [IP addr] がすでに選択されています。Enter ボタンを押します。現在の IP アドレス (例: 192.168.0.1) が表示されます。Lotus Foundations が IP アドレスを選択できなかった場合は、「0.0.0.0」が表示されます。
 4. IP アドレスの値を変更するには、以下の手順を実行します。
 - a. 左矢印ボタンまたは右矢印ボタンを押して、カーソルを左右に 1 桁ずつ動かします。
 - b. 上矢印ボタンまたは下矢印ボタンを押して、カーソル位置の値を増減します。
 - c. Enter ボタンを押して、新しい IP アドレスを保存します。
 5. 矢印ボタンでカーソルを「Netmask」まで移動します。Enter キーを押します。デフォルトのネットマスク (255.255.255.0) が表示されます。
 6. ネットマスクの値を変更するには、以下の手順を実行します。
 - a. 左矢印ボタンまたは右矢印ボタンを押して、カーソルを左右に 1 桁ずつ動かします。
 - b. 上矢印ボタンまたは下矢印ボタンを押して、カーソル位置の値を増減します。
 - c. Enter ボタンを押して、新しいネットマスクを保存します。

注: ほとんどの場合、デフォルトのネットマスク番号を変更する必要はありません。

 7. X ボタンを 2 回押して、フロントパネルの表示を標準状態に戻します。

19 ページの『第 3 部: 管理者権限アカウントの作成』に進んでください。

第 2 部: サードパーティ製ハードウェアでの Lotus Foundations の初回セットアップ

Lotus Foundations には、ハードウェアの互換性の判別に役立つ診断機能が組み込まれています。サードパーティ製ハードウェアの要件を以下に示します。

- x86 ベースのシステム
- 1 つ以上のハードディスク。データをバックアップするには、2 つ以上のハードディスクが必要です。
- 1 枚以上のネットワークインターフェースカード (NIC)。このシステムがネットワーク・ゲートウェイである場合は、2 枚のネットワークカードが必要です。
- DVD ドライブ
- VGA ベースのビデオカード

- 2 GB RAM
- モニタ
- キーボード

サードパーティ製ハードウェアには、ほかのアプリケーション、ファイル、または動作環境が含まれていないことが必要です。新品のディスクを使用することをお勧めします。お手元にハードウェア固有の参照資料も用意することを強くお勧めします。Lotus Foundations Start は、最初に基本オペレーティングシステムをインストールし、ディスクドライブ上の全てのデータを上書きします。ディスクドライブは、セットアッププロセスによっても設定されます。

サードパーティ製ハードウェアでのインストールを開始する前に、システム BIOS を変更して、DVD から起動できるようにする必要があります。このためには、システム BIOS でブート設定を行います。ブートの優先順位を以下のように変更します。

- 最初のブートデバイス: CD (または DVD)
- 2 番目のブートデバイス: ハードディスク

これが設定されると、Lotus Foundations はハードディスクにインストールされます。

Lotus Foundations Core のインストール

注: Lotus Foundations Core のインストールは、サードパーティ製ハードウェア専用です。Lotus Foundations Appliance を使用する場合は、19 ページの『第 3 部: 管理者権限アカウントの作成』に進んでください。

サーバーのセットアップ

サードパーティ製ハードウェアに Lotus Foundations サーバーをセットアップする場合は、以下の手順に従います。

1. 電源コードを主電源に接続します。
2. 以下のいずれかの方法でインターネット接続を確立します。
 - a. イーサネットポートが 1 つしかない場合、そのポートをルータ、ケーブルモデム、DSL モデムなどのインターネットデバイスに接続します。
 - b. イーサネットポートが 2 つある場合は、サーバー上のイーサネットポート eth0 を、ローカルエリアネットワークの LAN スイッチまたはルータのいずれかに接続します。
 - c. Lotus Foundations サーバーを直接インターネットに接続している場合は、ルータ、ケーブルモデム、DSL モデムなどのインターネットデバイスにイーサネットポート eth1 を介して接続します。
3. モニタとキーボードをそれぞれサーバーの該当するコネクタに接続します。
4. 電源ボタンを押して、サーバーをオンにします。
5. システムが CD または DVD から起動するように設定します。
6. 「**IBM Lotus Foundations Core、ディスク 1**」というラベルの CD または DVD をサーバーの CD または DVD ドライブに挿入します。
7. CD または DVD から起動するよう、サーバーを再起動します。

Lotus Foundations の基本的なインストールと設定

Lotus Foundations の基本設定を実行するには、以下の手順を実行してください。

1. サーバーは CD または DVD から起動するため、1 と入力して **Enter** キーを押すことにより、オプション 1 の「**Lotus Foundations の起動**」を選択します。オプションを選択しない場合、Lotus Foundations は 10 秒後に自動的にロードされます。このステップには数秒かかることがあり、この時間中は画面が空白になる場合があります。
2. Lotus Foundations が読み込まれると、「**WebConfig を代用**」ボックスの下に次のプロンプトが表示されます。

Press ENTER to begin...

Enter キーを押します。設定画面が表示されます。



図9. Lotus Foundations サーバーコンソール

3. オプション: Lotus Foundations サーバーが IP アドレスを自動的に選択できない場合 (コンソールの「Status」ボックスに Choosing Address と表示されたままになった場合)、または、選択された IP アドレスを変更したい場合は、コンソールメニューから IP アドレスを設定できます。
 - a. 設定画面の「**Main Menu**」ボックスから「**IP Address**」を選択します。
 - b. 新規 IP アドレスの入力を求めるプロンプトが表示されます。新規 IP アドレスを入力して Enter キーを押します。
 - c. Y キーを押して、新規 IP アドレスを確認します。

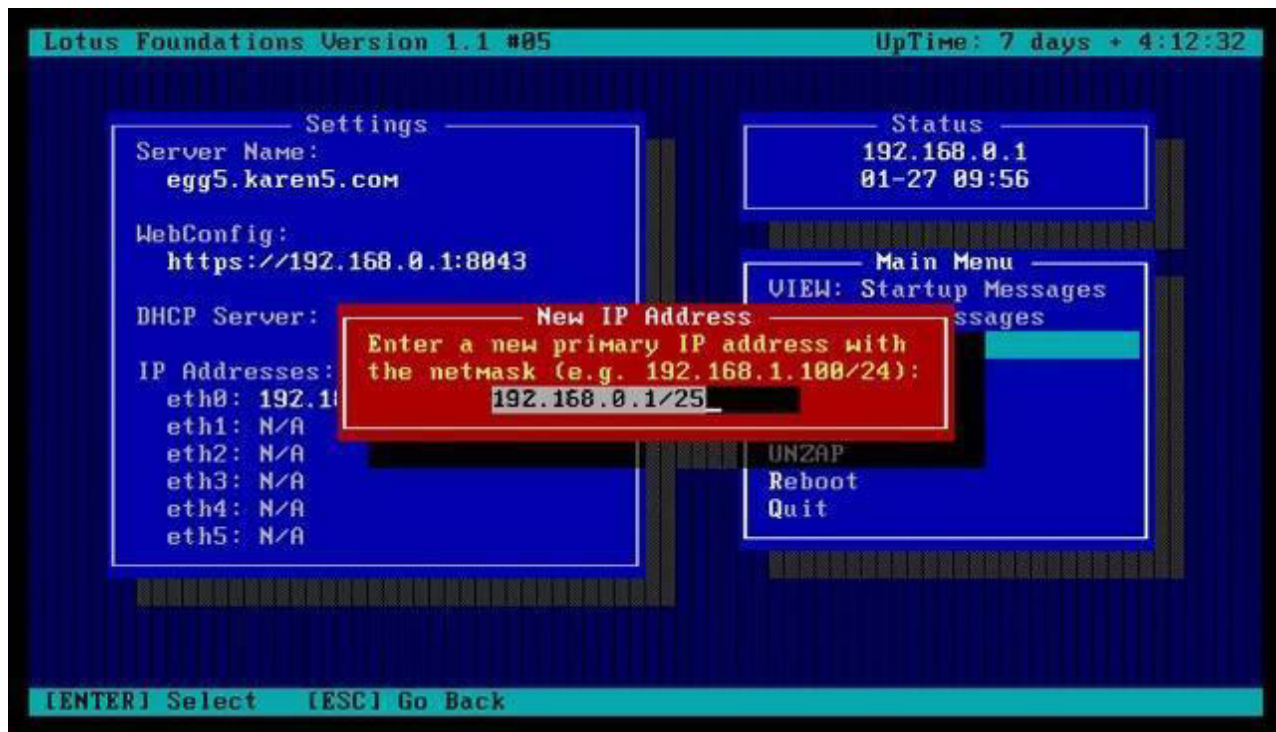


図 10. Lotus Foundations サーバーコンソールでの IP アドレスの設定

- 当初このサーバーにはサーバー名がランダムに割り当てられます。このサーバー名は Lotus Foundations Start のインストール前に変更できます。「Status」ボックスに表示された WebConfig URL を書き留めておきます。これが、ローカルネットワークでのサーバーの IP アドレス (eth 0) です。WebConfig は、Branch Office サーバーを管理するために使用するコンソールです。この IP アドレスは、WebConfig へのログインおよびサーバーの設定を完了するために必要です。

19 ページの『第 3 部: 管理者権限アカウントの作成』に進んでください。

第 3 部: 管理者権限アカウントの作成

Lotus Foundations の管理には、WebConfig という Web ベースのインターフェースを使用します。WebConfig にアクセスするには、サーバーで `https://server_ip_address:8043/` を指定します。管理者権限アカウントを作成するには、サーバーと同じネットワークに接続されているワークステーションの Web ブラウザから以下の手順を実行します。

1. Lotus Foundations サーバーのサーバーコンソールで IP アドレスを読み取ります。デモンストレーション上の理由から、ここでは IP アドレス 192.168.0.1 を使用します。
2. ワークステーションで Web ブラウザを開き、URL `https://server-ip-address:8043/` を入力します。例: `https://192.168.0.1:8043`
3. デフォルトの言語を選択します。これに続く 2 つの画面でライセンス条項を読み、同意します。「管理者権限のアカウントを作成」ページが表示されます。



Lotus Foundations

管理者権限のアカウントを作成

サーバを使用するには、事前に自分用の管理者権限のアカウントを作成する必要があります。パスワードとドメインのフィールドは必須です。

言語:
日本語

ユーザ ID:
root

フルネーム:
System Administrator

パスワード:
●●●●●●

パスワード (再入力):
●●●●●●

ドメイン名:
karen5.ibm.com

アクティベーションキー:
(空白の場合は評価版として動作します)

変更の保存 変更のキャンセル

図 11. 管理者権限アカウントの作成

4. 管理者権限アカウントを作成するには、ユーザー ID を **root** のままにしておきます。有効なパスワードを入力し、そのパスワードを再入力します。このパスワードを忘れないように書き留めておいてください。警告: 管理者権限ユーザー ID は、**root** にする必要があります。管理者権限アカウントは後で追加することができます。
5. インターネットドメイン名を入力します。この時点ではどんなインターネットドメイン名でも入力できます。Lotus Foundations Branch Office をインストールするには、その組織の実際のインターネットドメイン名が必要になります。
6. **アクティベーションキー**のフィールドにソフトウェアアクティベーションキーを入力します。詳しくは、『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』を参照してください。
7. 「**変更の保存**」をクリックします。「管理者権限のアカウントを作成しました」ページが表示されます。
8. 「**ログイン**」をクリックします。今作成した **root** ユーザー ID とパスワードを使用して、WebConfig にログインします。WebConfig により、セットアップおよびサーバーの設定が続行されます。

アクティベーションキーを後から入力または変更するには

この手順を行う必要がある場合としては、以下の 2 つがあります。

1. 初期インストールを実行したときにアクティベーションキーを所有していなかった。
2. 既にインストールされている既存のアクティベーションキーを変更する必要がある。

いずれの場合も、以下の手順を実行します。

1. ワークステーションで Web ブラウザを開き、https://server_ip_address:8043/ にアクセスします。
2. **root** 管理者権限ユーザー ID およびパスワードを入力します。
3. WebConfig の左側にあるメニューから「**ソフトウェア更新**」をクリックします。



図 12. WebConfig の「ソフトウェア更新」メニューの選択

4. 「**Foundations の登録**」セクションを編集し、アクティベーションキーを入力します。変更を保存します。

第 4 部: ディスクの設定

Lotus Foundations サーバーでディスクを設定するには、以下の手順を実行してください。

1. メインの WebConfig ページで、左側にある「ステータス」リンクを選択します。「サービスステータス」テーブルの「ディスクステータス」セクションに、ディスクが設定されていないことが表示されます。ディスクの設定には、以下の 2 つのオプションがあります。
 - RAID (バックアップなし) - 全てのディスクを RAID に設定します。
 - RAID と idb (バックアップ) - 最後のディスク以外の全てのディスクを RAID に設定します。最後のディスクはバックアップディスクとして設定します。

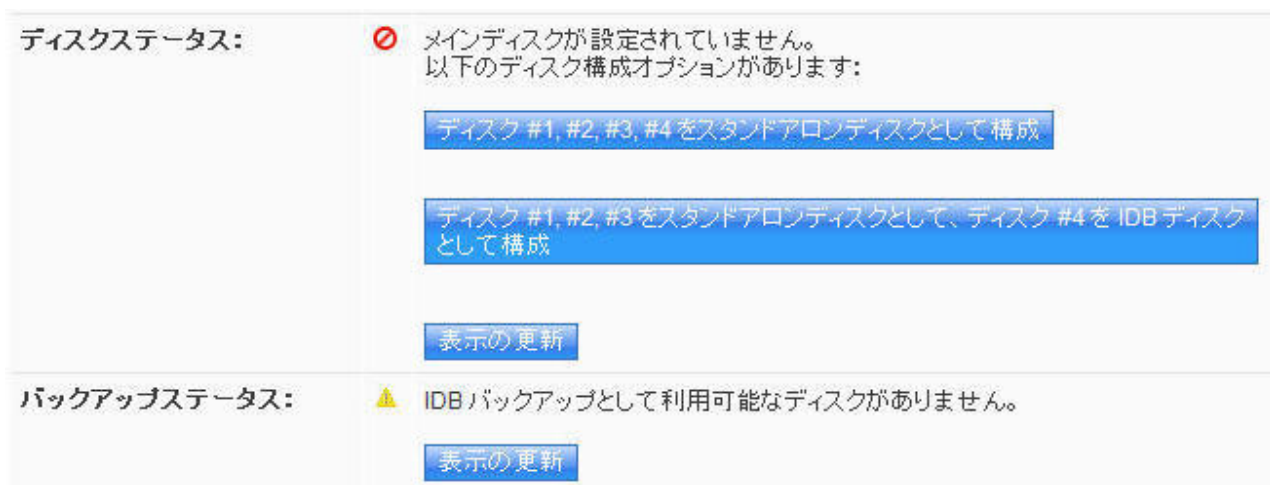


図 13. WebConfig コンソールに表示されるディスクステータスのオプション

2. 当該リンクをクリックしてディスクを設定します。
 - 例えば、2 つのディスクがある場合、「ディスクステータス」セクションには「メインディスクが設定されていません。ディスク #1 と #2 の両方を RAID として設定することも、ディスク #1 をスタンドアロンディスクとして、ディスク #2 を IDB バックアップディスクとして設定することもできます。」と表示されます。ディスクが 3 つある場合、「ディスクステータス」セクションには「メインディスクが設定されていません。ディスク #1、#2、#3 のすべてを RAID として設定することも、ディスク #1 と #2 を RAID ディスクとして、ディスク #3 を IDB バックアップディスクとして設定することもできます。」と表示されます。Lotus Foundations サーバーは最大で 6 台のドライブに対応していますが、サードパーティサーバー製品は、これより多いドライブに対応している場合もあります。
 - RAID 設定の場合は、「**全て RAID として構成**」をクリックします。IDB バックアップを有効にする場合は、「**ディスク #2 を IDB ディスクとして構成**」をクリックします。

- RAID 設定を選択した場合、RAID の再構築が開始します。このプロセスは、Lotus Foundations のパフォーマンスにほとんど影響を与えません。

ディスクステータス:	▲	ディスクを構成中...
バックアップステータス:	▲	IDB バックアップとして利用可能なディスクがありません。
表示の更新		

図 14. ディスクを構成中

ディスク設定の詳細については、『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』を参照してください。

再起動

ディスク設定のステータス更新は、WebConfig の「ステータス」ページにある「ディスクステータス」セクションに表示されます。ディスクの設定が完了すると、ここにメッセージが表示されます。ディスクを設定したら、以下の手順を実行します。

1. サーバーをシャットダウンします。
2. サードパーティハードウェアの場合のみ: CD/DVD を取り出します。
3. サーバーの電源を入れます。

サーバーは今度は設定済みのディスクから直接起動されます。

第 5 部: Lotus Foundations Branch Office のインストール

Lotus Foundations サーバーが実行され、設定されている状態で、以下の手順を行います。

1. DVD ドライブがある場合は、「**Lotus Foundations Branch Office ディスク 2**」というラベルの付いた DVD をサーバーに挿入します。

ワークステーションにソフトウェアをダウンロードした場合は、以下の手順を実行します。

- a. Lotus Foundations サーバーの **autoinstall** ファイル共有に接続します。これを行うには、ワークステーションで、「**スタート**」 → 「**ファイル名を指定して実行**」をクリックし、「**¥¥**」に続けてサーバーの IP アドレスを入力し、**¥autoinstall** と入力します。例: **¥¥192.168.0.1¥autoinstall**
 - b. Lotus Foundations サーバーの管理者権限アカウント (例えば、**root**) およびパスワードを入力します。
 - c. Lotus Foundations Branch Office パッケージを **unzip** したフォルダを見つけます。命名規則は、**lfbranch-domino850-nnnn.pkg** です。(例: **lfbranch-domino850-2760.pkg**)
 - d. Lotus Domino **lfbranch-domino850-nnnn.pkg** を **autoinstall** フォルダにコピーします。このファイルがサーバーの **autoinstall** フォルダにコピーされるまで待ってから、先に進みます。
2. WebConfig (https://server_ip_address:8043) の左側にあるメニューから「**ソフトウェア更新**」をクリックします。「インストール可能なアドオンパッケージ」セクションに、インストール可能なパッケージのリストが表示されます。選択可能なパッケージのリストが表示されない場合は、数秒待ってから画面をもう一度更新します。Lotus Foundations Branch Office パッケージがリストされ、「**Lotus Foundations Branch Office 1.1 (Team autoinstall/lfbranch-domino850-nnnn.pkg)**」または「**Lotus Foundations Branch Office 1.1 (DVD)**」と表示されます。
 3. Lotus Foundations Branch Office アドオンの横の「**インストール**」をクリックし、使用許諾契約を読んで受け入れます。すぐにインストールが開始されますが、インストール処理全体の所要時間は 30 分に達することがあります。インストールのステータスは、WebConfig の「**ステータス**」ページにある「**自動インストール**」セクションに表示されます。
 4. 左側のメニューから「**ステータス**」をクリックして、アドオンのセクションまでスクロールします。インストール後は、Lotus Foundations Branch Office が実行中で、サーバーをセットアップできる状態であることを確認する緑の注意アイコンが製品の左側に表示されます。

アドオン:



Lotus Foundations Branch Office 1.1 実行中

- サーバの設定の準備ができました。

図 15. アドオンのステータス

第 6 部: Lotus Foundations Branch Office サーバーと Lotus Domino Enterprise サーバー間の接続の確立

オプション: セキュアネットワークの確立

多くの場合、支社と本社の間にはセキュアネットワーク接続が必要になります。このセキュア接続には、Lotus Foundations の VPN 機能を含めることができます。また、これ以外のネットワークハードウェアやソフトウェアも、サイト間のセキュア接続に使用することができます。Lotus Foundations に組み込まれた VPN の使用方法については、『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』の「*Virtual Private Networks*」の章を参照してください。

接続の確立

サーバー間の接続を確立するには、以下の手順を実行します。

1. ワークステーションから、Lotus Domino Enterprise サーバーに telnet 接続します。コマンドラインを使用して、Lotus Foundations Branch Office サーバーを「ping」します。例: ping keyphrase3.mycompanydev5.com

Lotus Foundations Branch Office サーバーを「ping」できない場合は、ローカルネットワーク管理者に問い合わせてください。

2. ワークステーションから、Lotus Foundations Branch Office サーバーに telnet 接続します。コマンドラインを使用して、Lotus Domino Enterprise サーバーを「ping」します。例: ping domino.mycompany.com

Lotus Domino Enterprise サーバーを「ping」できない場合は、以下の手順に従って、WebConfig コンソールで Enterprise Lotus Domino サーバーの DNS エントリを追加します。

- a. サーバーの WebConfig URL (`https://server_ip_address:8043`) で、Lotus Foundations Branch Office サーバーにログインします。root ID およびパスワードを使用してください。
- b. 左側のメニューから「DNS」をクリックします。
- c. 「内部エントリ」タブをクリックし、「内部エントリを追加します」をクリックします。
- d. 「名前」フィールドに、Lotus Domino Enterprise サーバーの完全修飾ドメイン名を追加します。「アドレス (A)」ラジオボタンをクリックします (デフォルトで選択されていない場合)。
- e. 対応する IP アドレスを「値」フィールドに入力します。
- f. 「変更の保存」をクリックします。

DNS レコードの追加

名前:	<input type="text" value="domino.mycompany.com"/>
タイプ:	<input type="radio"/> NSレコード <input type="radio"/> MXレコード <input checked="" type="radio"/> Aレコード <input type="radio"/> Dynamic Redirect
IP アドレス:	<input type="text" value="9.3.187.78"/>

図 16. DNS エントリの追加

DNS エントリを追加した後、「ping」コマンドを使用して接続を再度テストします。

接続が確立されたら、27 ページの『第 7 部: Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の登録』に進んでください。

第 7 部: Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の登録

Lotus Foundations Branch Office サーバーを Lotus Domino Enterprise サーバーに登録し、Lotus Foundations Branch Office サーバーのサーバー ID を作成する必要があります。登録は、Lotus Domino Administrator クライアントから行います。Lotus Domino Administrator の使用方法についてのヘルプは、Lotus Domino and Notes Information Center を参照してください。

Lotus Foundations Branch Office サーバーを登録してサーバー ID を作成するには、以下の手順を実行します。

1. Lotus Domino Enterprise サーバーに接続されている IBM Lotus Domino Administrator を開きます。
2. 「設定」タブをクリックします。
3. 「サーバー」セクションを展開し、「現在のサーバー文書」を選択します。
4. 右側で、「ツール」→「登録」を展開し、「サーバー」を選択します。
5. 「認証者の選択」ウィンドウで、「認証者 ID とパスワードを指定」を選択し、「認証者 ID」をクリックします。
6. 「認証する認証者 ID の選択」ウィンドウで、Lotus Domino Enterprise サーバー上に置かれた組織認証者 ID ファイル (通常は、cert.id というファイル名) を見つけます (デフォルトで選択されていない場合)。このファイルは通常、Lotus Domino Enterprise サーバーのデータディレクトリにあります。ファイルを強調表示してから「開く」をクリックします。「OK」をクリックします。

上級ユーザーの場合: Lotus Foundations Branch Office サーバーが階層型 Lotus Domino インストールのメンバとして機能する場合には、このステップで組織単位認証者 ID ファイルも使用できます。組織単位について詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/domhelp/v8r0/index.jsp?topic=/com.ibm.help.domino.admin85.doc/DOC/H_HIERARCHICAL_NAME_TREES_OVER.html を参照してください。

注意: 「認証者復旧情報の警告」を受け取る場合もあります。この警告メッセージは無視して構いませんが、推奨されるアクションを実行することもできます。これらのアクションは、サーバー登録に関係しません。「この認証者 ID で今後、警告を表示しない」ボックスにチェックマークを付けて、「OK」をクリックします。

7. 「サーバーの登録」ウィンドウが表示されます。「続行」をクリックします。
8. 「新規サーバーの登録」ウィンドウで、以下の情報を入力します。
 - a. 「サーバー名」フィールドに、*Lotus Foundations Branch Office* Domino サーバーの名前を入力します。

注意: サーバー名はユーザーの E メールアドレスの一部を構成し、永続的な選択となるので、例えば Sales1 または Boston など、サーバーのロケーションまたは機能に応じたサーバー名を選択することもできます。

- b. 「**Domino ドメイン名 (Domino Domain name)**」フィールドに、*Lotus Domino Enterprise* ドメイン名を入力します (デフォルトで入力されていない場合)。
- c. 「**サーバー管理者名 (Server administrator name)**」フィールドで、ユーザーのボタンをクリックし、*Lotus Domino Enterprise* サーバーの管理者権限アカウントを選択します (デフォルトで選択される場合もあります)。
- d. 「**ID ファイルとパスワード (ID file password)**」フィールドには入力しないでください。

注: 重要な点として、「**ID ファイルとパスワード (ID file password)**」フィールドにはパスワードを入力してはなりません。ID ファイルにパスワードが含まれる場合、Branch Office *Lotus Domino* サーバーの起動時に、パスワードの入力を求めるプロンプトが出されます。その時点でユーザーがパスワードを提供することはできないため、インストールが機能しなくなります。

- e. 「サーバー ID を保存する場所」セクションで、「**Domino ディレクトリ**」ボックスのチェックマークを外します。「**ファイル**」ボックスにチェックマークを付け、「**ID ファイルの設定**」をクリックします。新規サーバー ID の場所を指定します。後の手順で必要になったときに、サーバーの ID ファイルをすぐに見つけられるように、サーバーの名前やロケーションなどの分かりやすいファイル名を考えてください。「**保存**」をクリックします。
9. 緑のチェックマークボタンをクリックします。これにより、ダイアログボックスの下部にあるボックスに *Lotus Foundations Branch Office* サーバーが表示されます。
 10. この時点で登録が必要な *Lotus Foundations Branch Office* サーバーの数だけ、登録プロセスを繰り返します。
 11. *Lotus Domino Enterprise* サーバーに登録するサーバーのリストにすべての *Lotus Foundations Branch Office* サーバーを追加し終わったら、登録する個々のサーバーを選択して「**登録**」をクリックするか、または「**すべて登録 (Register All)**」をクリックしてリスト内のすべてのサーバーを登録します。
 12. 「**完了**」をクリックします。

これで、*Lotus Foundations Branch Office* サーバーが *Lotus Domino Enterprise* サーバーに登録され、*Lotus Foundations Branch Office* サーバーのサーバー ID が作成されて、ステップ 8e で指定したローカルハードドライブの場所に保管されました。

第 8 部: Enterprise Lotus Domino ドメインのメンバとしての Lotus Foundations Branch Office サーバーのセットアップ

次に必要となる作業は、Lotus Foundations Branch Office サーバーを Lotus Domino Enterprise ドメインのメンバになるように構成することです。Lotus Domino Administrator がインストールされたワークステーションで、以下の手順を実行します。

- 27 ページの『第 7 部: Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の登録』で Lotus Foundations Branch Office サーバー用に作成した ID ファイルを見つけて、Lotus Foundations Branch Office サーバーの `¥¥server_ip_address¥notes¥notesdata` ディレクトリにコピーします。以下の手順では、このディレクトリを使用します。
ID ファイルを Lotus Foundations Branch Office サーバーにコピーするには、以下の手順に従います。
 - Lotus Foundations Branch Office サーバーの **notesdata** ファイル共有に接続します。これを行うには、「スタート」 → 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「¥¥」に続けてサーバーの IP アドレスを入力し、`¥notes¥notesdata` と入力します。例: `¥¥192.168.0.1¥notes¥notesdata`
 - 管理 ID (root) とパスワードを入力します。
 - Lotus Domino Administrator クライアントで Lotus Foundations Branch Office サーバー ID ファイルが配置されているフォルダを見つけ、このファイルを選択してから「コピー」を選択します。
 - ファイルを Lotus Foundations Branch Office の notesdata フォルダに貼り付けます。
- 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「Lotus アプリケーション (Lotus Applications)」 → 「リモートサーバーの設定 (Remote Server Setup)」を選択して、Lotus Domino リモートサーバーの設定プログラムを開きます。
- 「リモートホストアドレス (Remote Host Address)」フィールドに、サーバーの IP アドレスまたは Lotus Foundations Branch Office サーバーのホスト名 (例えば、`keyphrase3.mycompanydev5.com`) を入力し、「OK」をクリックします。「Ping」ボタンを使用して、サーバーとの接続をテストしてから手順を続けます。
- 「ようこそ」画面で「次へ」をクリックします。
- 続いて表示されるウィンドウで、「追加サーバーの設定 (Setup additional server)」をクリックし、「次へ」をクリックします。

注: Lotus Foundations Branch Office は、Lotus Domino Enterprise 環境に接続する追加サーバーとしてのみ使用するように設計されているため、このステップでは「追加サーバーの設定 (Setup additional server)」を選択する必要があります。

- 次の設定ウィンドウで、「サーバー ID ファイルが、フロッピーディスク、CD、またはネットワークドライブに保管されている (The server ID file is

stored on a floppy disk, CD or network drive)」というラベルの付いたラジオボタンを選択し、「参照」ボタンをクリックします。

7. 「サーバー ID ファイルの選択 (Select server ID file)」ウィンドウから、Lotus Foundations Branch Office の **notesdata** フォルダ内にある .id ファイルを見つけます (このセクションのステップ 1 を参照)。ファイルを強調表示してから「選択」をクリックします。「次へ」をクリックします。
8. 次のウィンドウに、Lotus Foundations Branch Office サーバーの Lotus Domino サーバー名と Lotus Domino Enterprise サーバーのドメイン名が表示されます。「次へ」をクリックします。

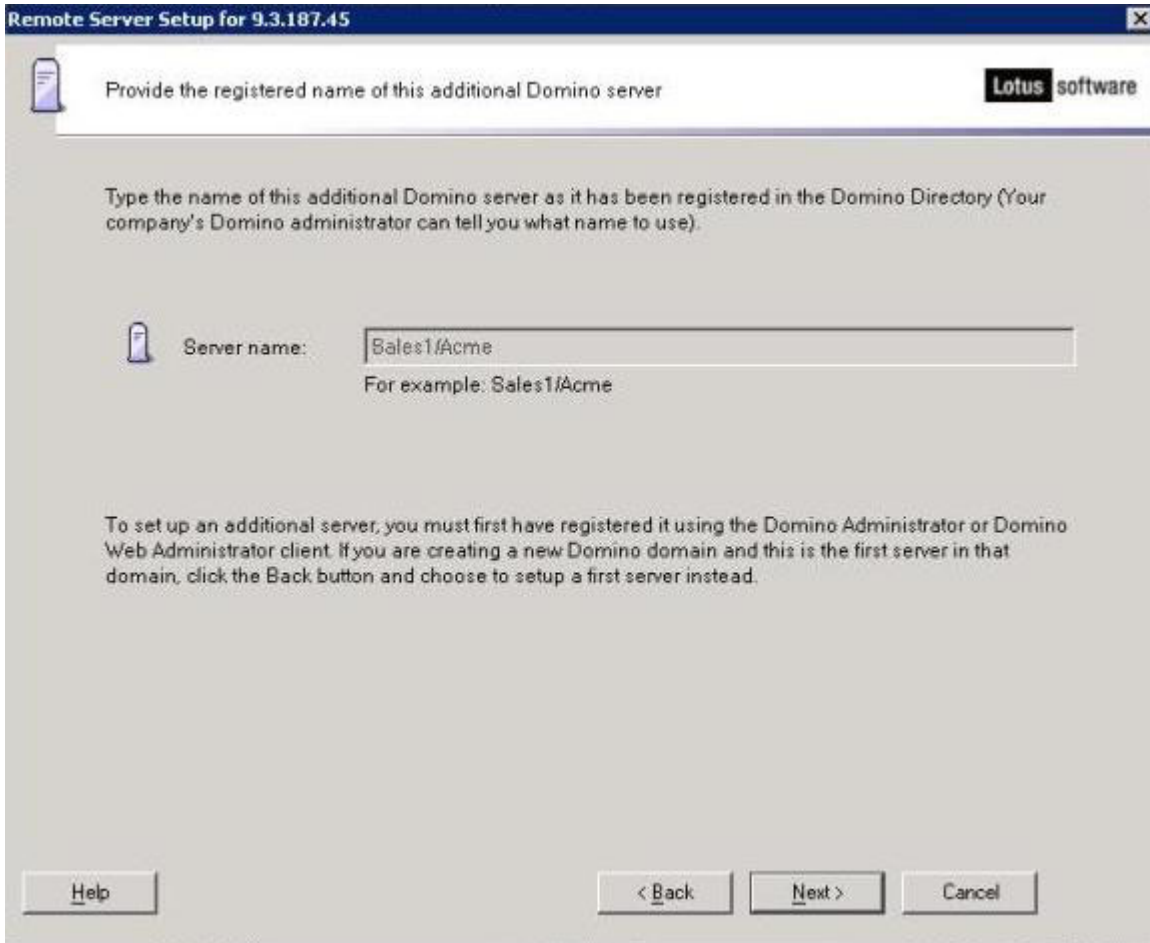


図 17. 「リモートサーバーの設定 (Remote Server Setup)」画面

9. 次のウィンドウで、「Web ブラウザ」ボックスと「インターネットメールクライアント (Internet Mail Clients)」ボックスを選択します。ディレクトリサービスが Lotus Domino Enterprise サーバーによって制御される場合には、「ディレクトリサービス」(LDAP) ボックスのチェックマークを外します。「次へ」をクリックします。
10. 「Domino ネットワーク設定 (Domino Network Settings)」画面で、「カスタマイズ」をクリックします。「TCP/IP」オプションにチェックマークが付けられていて、完全修飾インターネットホスト名が正しく入力されていることを確認します。「OK」をクリックします。

11. 「リモートサーバーの設定 (Remote Server Setup)」画面で「次へ」をクリックします。
12. 次のウィンドウでは、「その他の Domino サーバー名 (Other Domino server name)」フィールドに Lotus Domino Enterprise サーバー名 (例えば、MyDomino/MyCompany) を入力します。「追加ネットワークアドレス」フィールドには、Enterprise Lotus Domino インターネット名 (例えば、domino.mycompany.com) を入力します。「次へ」をクリックします。
13. 次のウィンドウで、「プライマリ Domino ディレクトリとして設定 (Setup as primary Domino Directory)」ラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。
14. 「Domino サーバーの保護 (Secure your Domino Server)」画面で、両方のボックスにチェックマークが付いていることを確認してから、「次へ」をクリックします。
15. 次のウィンドウでは、.id ファイルのコピーを作成することを選択できます。それには、ボックスにチェックマークを付けて「参照」をクリックし、.id ファイルの保管先を指定します。この操作が完了したら、「次へ」をクリックします。
16. 「設定 (Setup)」をクリックします。Lotus Domino の構成が自動的に完了します。設定が完了したら、「完了」をクリックします。
17. 設定が完了した時点で、Lotus Domino の listening をオフにするかどうかを尋ねられます。「はい」をクリックします。

注: この時点は、「はい」をクリックしてください。このようにしない場合、インストールはハングしているような状態になります。 Lotus Domino サーバーが listening モードを終了しない限り、サーバーの正常な動作は開始されません。

18. これで、Lotus Foundations Branch Office の設定は完了しました。サーバーが正しく構成されていることを確認するには、Lotus Foundations Branch Office の WebConfig コンソールにログインします。「ステータス」画面の「アドオン」セクションで、Lotus Foundations Branch Office アドオンの横に緑色のチェックマークが付いていることを確認してください。

アドオン:	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Lotus Foundations Branch Office 1.1 実行中 <ul style="list-style-type: none"> ● Lotus Domino Serverはポート 1352で listenしています。 ● ユーザまたは構成の変更を待機しています。 ● Lotus Domino データベースのバックアップ: まだ実行されていません。 ● Lotus Domino と Foundations 間のユーザの同期: 直前の実行は 09/03/12 6:31:00に行われました。 ● Lotus Domino と Foundations 間のユーザの同期: 次回の実行は、09/03/12 6:32:00に行われます。 ● Lotus Domino データベースの圧縮: まだ実行されていません。 ● Lotus Domino データベースの圧縮: 次回の実行は、09/03/15 21:00:00に行われます。
-------	---

図 18. 正常に動作中のアドオン

第 9 部: Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の複製の設定

次に、Lotus Foundations Branch Office サーバーと Lotus Domino Enterprise サーバー間での複製を設定する必要があります。以下の手順に従ってください。

1. Windows ワークステーションから、Lotus Domino Enterprise サーバーに接続された IBM Lotus Domino Administrator を開きます。
2. 「設定」タブをクリックします。
3. 「サーバー」を展開して「サーバー接続 (Connections)」をクリックします。「接続の追加」をクリックします。「基本」タブが表示されます。以下の情報を入力してください。
 - a. 「送信側サーバー」フィールドで、Lotus Domino Enterprise サーバーのホスト名とインターネットドメインを選択します (デフォルトで入力されていない場合)。
 - b. 「送信側ドメイン」フィールドに、Lotus Domino Enterprise サーバーのネットワークドメイン名を入力します (デフォルトで入力されていない場合)。
 - c. 「使用するポート」フィールドで、「ポートの選択」をクリックします。「TCP/IP」を選択します。「OK」をクリックします。
 - d. 「受信側サーバー」フィールドで、Lotus Foundations Branch Office サーバーのホスト名とインターネットドメインを選択します。

注意: Lotus Foundations Branch Office サーバーが表示されて選択できるようになるまでに、数分かかる場合があります。

- e. 「受信側ドメイン」フィールドに、Lotus Foundations Branch Office サーバーのネットワークドメイン名を入力します。
- f. 「追加ネットワークアドレス」フィールドには、Lotus Foundations Branch Office サーバーのホスト名または IP アドレスを入力できます。

Server Connection: EMAIL01/Austin/SBE to keyphrase3/SBE	
Basics Replication/Routing Schedule Comments Administration	
Basics	
Connection type:	Local Area Network
Source server:	EMAIL01/Austin/SBE
Source domain:	SBEMail
Use the port(s):	TCP/IP
Usage priority:	Normal
Destination server:	keyphrase3/SBE
Destination domain:	mycompanydev5.com
Optional network address:	
Choose Ports...	

図 19. 「基本」タブ

4. 「スケジュール」タブをクリックします。デフォルトを変更するには、複製の繰り返し間隔を入力します。

注意: 複製スケジュールは、Lotus Domino ディレクトリを Lotus Foundations Branch Office サーバーに複製する頻度を左右するため、ユーザーの変更 (追加、削除、その他の変更) が Lotus Foundations Branch Office サーバーに反映されるまでの時間にも影響します。

5. 「保存して閉じる」をクリックします。

第 10 部: オプション: Lotus Domino の言語パックのインストール

ここまでの手順で Lotus Foundations Branch Office サーバーはセットアップされましたが、他の言語についてサーバーおよびユーザーサポートをセットアップする場合は、Lotus® Domino® の言語パックをインストールする必要があります。Lotus Domino の言語パックをインストールすることにより、ユーザーは優先言語のメールテンプレートを使用できるようになります。ユーザーの登録後に言語パックをインストールした場合、ユーザーの言語を切り替えるには、ユーザーごとの E メールデータベースを新しい言語テンプレートで手動で更新する必要があります。

1. DVD ドライブがある場合は、Lotus Domino 言語パック用の「**Lotus Foundations Branch Office ディスク 3**」というラベルの付いた DVD を挿入します。

ソフトウェアをワークステーションにダウンロードした場合は、以下の作業を行います。

- a. Lotus Foundations サーバーの **autoinstall** ファイル共有に接続します。これを行うには、ワークステーションで、「**スタート**」 → 「**ファイル名を指定して実行**」をクリックし、「**¥¥**」に続けてサーバーの IP アドレスを入力し、**¥autoinstall** と入力します。例: **¥¥192.168.0.1¥autoinstall**
 - b. 管理 ID (root) とパスワードを入力します。
 - c. Lotus Foundations Branch Office ソフトウェアパッケージを unzip したフォルダを見つけます。命名規則は **lf-domino850-LP-language code.nnnn.pkg** です。 *language_code* は、言語に対応する 2 文字のコードを表します。(例: **lf-domino850-LP-fr.2760.pkg** (フランス語の場合))
 - d. Lotus Domino の **lf-domino850-LP-language code.nnnn.pkg** を **autoinstall** フォルダにドラッグします。全てのファイルがサーバーの **autoinstall** ディレクトリにコピーされるまで待ってから、先に進みます。
2. サーバーの WebConfig URL (https://server_ip_address:8043) で、WebConfig 画面の左側にあるメニューから「**ソフトウェア更新**」をクリックします。
 3. インストール可能なパッケージのリストが表示されます。選択可能なパッケージのリストが表示されない場合は、数秒待ってから画面をもう一度更新します。Lotus Domino 言語パックがリスト内に「**Domino Language Pack Installer for language (Team autoinstall/lf-domino850-LP-cc-*nnnn*.pkg)**」のように表示されず。
 4. Lotus Foundations Branch Office Domino 言語パックで「**インストール**」をクリックし、使用許諾契約を読んで受け入れます。インストールはすぐに開始されますが、完了するまでしばらく時間がかかることがあります。
 5. メインステータスページの「**アドオン**」セクションで、セットアップが完了していることを確認します。

注: 言語パックは随時追加することができます。

第 11 部: Lotus Foundations Branch Office ユーザーの設定および登録

Lotus Domino Administrator を使用して、Lotus Foundations Branch Office のユーザーを登録する必要があります。ユーザーを登録するには、以下の手順を実行します。

1. Windows ワークステーションから、Lotus Domino Enterprise サーバーに接続された IBM Lotus Domino Administrator を開きます。
2. 「ユーザーとグループ」タブをクリックします。

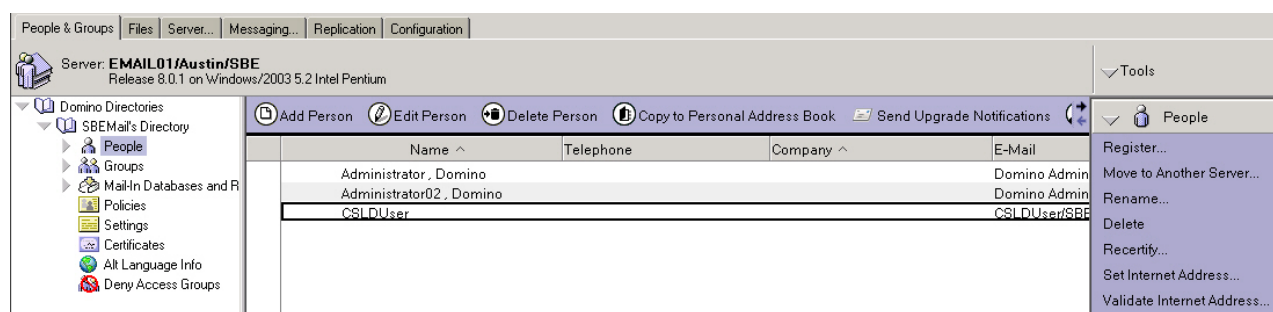


図 20. 「ユーザーとグループ」タブ

3. 右側のメニューにある「ユーザー」を展開し、「登録」をクリックします。Lotus Domino Enterprise サーバーのパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

注意: 証明書の更新中に、エラーを通知するメッセージが表示される場合があります。この警告は無視して構いません。「はい」をクリックして先に進みます。

4. 表示された「ユーザーの登録 (Register Person)」ダイアログで、以下の手順に従います。
 - a. 「登録サーバー」をクリックし、Lotus Domino Enterprise サーバーを選択します (選択されていない場合)。
 - b. 「名」、「姓」および「パスワード」フィールドに情報を入力し、「パスワードオプション」をクリックします。管理権限の設定に応じてパスワードの強度を調整し、「インターネットパスワードの設定」というラベルの付いたボックスにチェックマークを付けます。「OK」をクリックします。

注意: インターネットパスワードを持つユーザーのみが、Lotus Foundations サーバーにログインして、ファイル共有などの機能にアクセスできます。このようなアクセスを制限したい場合には、パスワードを省略しても構いません。また、パスワードは後から追加することもできます。

- c. 「ユーザーの登録 (Register Person)」メインダイアログで、「詳細」チェックボックスをクリックします。
- d. 「メール」タブを選択します。「メールサーバー」をクリックし、ドロップダウンボックスから、ユーザーの E メールファイルを置く Lotus

Foundations Branch Office サーバーの名前を選択します。これは、ホスト名や IP アドレスではなく、必ず Lotus Domino サーバー名でなければなりません。そうでないと、ユーザーは Lotus Foundations アカウントを取得できません。

- e. 「メールファイルテンプレート」リストから「メール (R8.5)」を選択します。
- f. 「アドレス」タブを選択し、「インターネットアドレス」フィールドと「インターネットドメイン」フィールドに、ユーザーに適切な E メールアドレスが表示されていることを確認します。
- g. オプション: ユーザーが英語以外の言語を必要とする場合は、「その他」タブを選択し、「優先言語」ドロップダウンからユーザーが希望する言語を選択します。
- h. 緑のチェックマークボタンをクリックします。これにより、「登録キュー」ボックスにユーザーアカウントが表示されます。

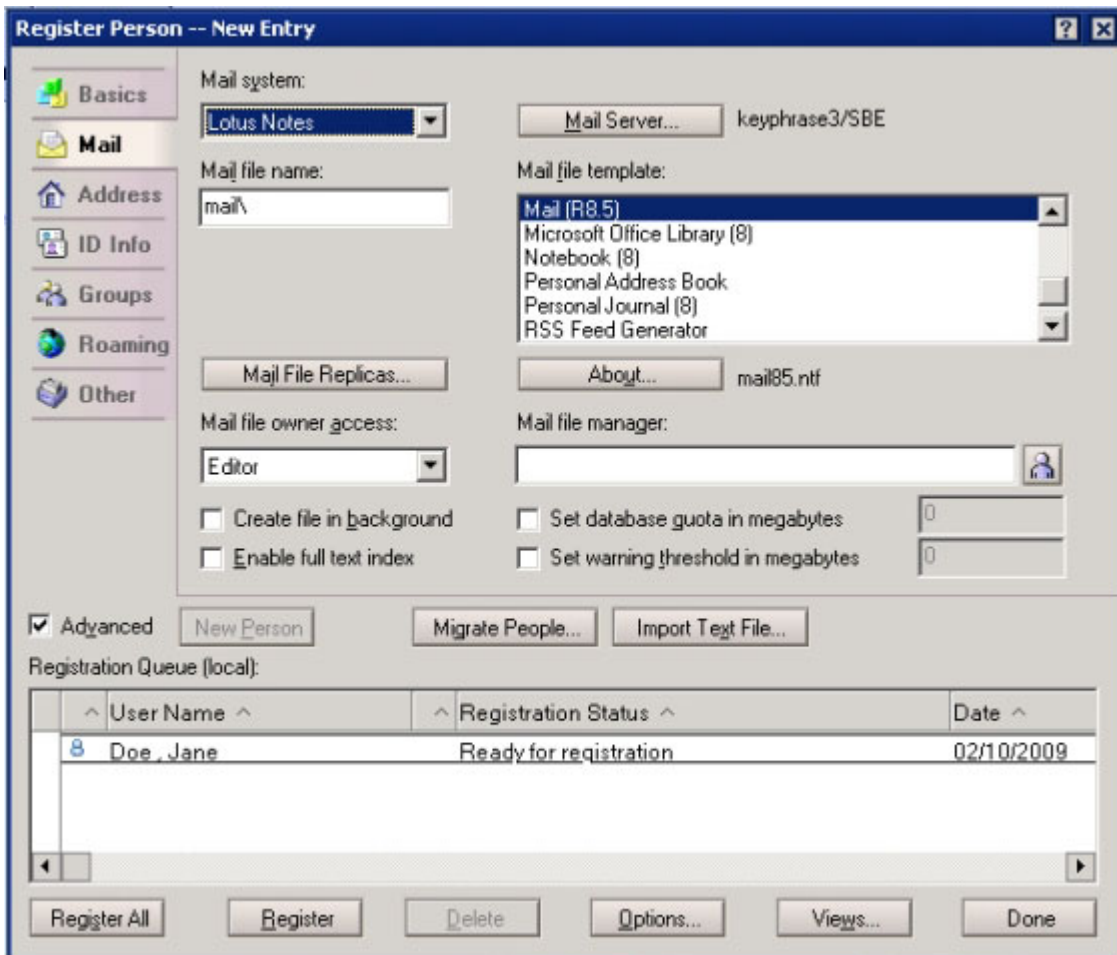


図 21. 登録準備が整ったユーザー

- i. 「登録」をクリックします。登録が完了すると、アカウントが正常に登録されたことを示すウィンドウが表示されます。「OK」をクリックしてこのウィンドウを閉じ、次に「完了」をクリックします。

注意: このダイアログボックスでは「サーバーの登録」ダイアログと同様に、「登録キュー」に多数のユーザーを追加してから「すべて登録 (Register All)」をクリックできます。

5. ユーザーが追加されていることを確認するには、Lotus Foundations Branch Office の WebConfig コンソールを調べます。Lotus Domino Enterprise サーバーが Lotus Domino ディレクトリを Lotus Foundations Branch Office サーバーに複製した後 (33 ページの『第 9 部: Lotus Domino Enterprise サーバーでの Lotus Foundations Branch Office の複製の設定』で設定した複製スケジュールに従って複製された後、またはディレクトリの複製を手動でトリガした後)、WebConfig コンソールにログインします。

注意: 複製後、ユーザーが WebConfig に表示されるまでに数分かかる場合があります。

6. 左側のメニューから「ユーザー」を選択します。「ユーザー」タブをクリックします。新規ユーザーがリストされます。

ユーザーの設定



ユーザー設定のナビゲーションメニュー:

- ユーザー (選択済み)
- チーム
- 管理者
- パスワードポリシー

ユーザー検索:

検索

ローカル	ユーザー ID	フルネーム	チーム	PPTP	FTP	メール使用量	ディスク使用状況	アクション
	jdoe	jane doe				12.0 MB	144 KB 使用中	

図 22. Lotus Foundations Branch Office の新規ユーザー

オプション: カスタマイズ

IMAP および POP メールアカウントの設定

IMAP および POP を使用するように Lotus Foundations Branch Office を設定する場合は、Lotus Domino Enterprise サーバーに短縮名を設定する必要があります。以下の手順に従ってください。

1. Windows ワークステーションから、IBM Lotus Domino Administrator を開きます。
2. Lotus Foundations Branch Office サーバーのサーバー文書を開きます。
3. 「セキュリティ」タブをクリックし、「インターネットアクセス」を選択します。
4. 「インターネット認証」フィールドの値を「弱いセキュリティと複数の名前のパリエーション」に変更します。
5. Lotus Foundations Branch Office サーバーの WebConfig コンソールにログインします。左側のメニューから「仮想サーバー (Virtual Servers)」をクリックします。Lotus Foundations Branch Office アドオンを無効にしてから再び有効にして、Lotus Domino サービスを再起動します。Lotus Foundations Branch Office サーバーを再起動するには、左側のメニューから「ステータス」をクリックし、画面の下端までスクロールダウンして「再起動」をクリックするという方法もあります。

オプション: 追加機能のインストール

Lotus Foundations Branch Office では追加機能をインストールできます。それらの機能のセットアップおよび設定については以下の参照ガイドで説明しています。

- Lotus Foundations Run アドオン: Lotus Foundations サーバー上で Windows アプリケーションを実行できるようになります。『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』の「*Lotus Foundations Run add-on*」の章を参照してください。
- Lotus Symphony: 『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』の「*Lotus Symphony*」の章を参照してください。
- Lotus Notes: 本社を通して組織に配布した Lotus Notes クライアントを使用することもできます。『*Lotus Foundations Branch Office Administration Guide*』の「*Install the Lotus Notes add-on*」の章を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
Office 4360
One Rogers Street
Cambridge, MA 02142
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

商標

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Lotus、および Lotus Notes は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。



Printed in Japan